

臨床研究情報

【研究課題名】

電子カルテデータを用いた、がん薬物療法と腎障害に関する診療実態調査と関連因子および予後に関する研究

【研究機関・研究分担者】

京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座 教授 武藤学

京都大学医学部付属病院 薬剤部 教授 松原和夫

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 教授 奥野恭史

市立札幌病院 消化器内科 副部長 中村路夫

滋賀県立総合病院 消化器内科 後藤和之

聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学 講師 水上拓郎

九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科 助教 土橋賢司

熊本大学病院 がんセンター 講師 陶山浩一

埼玉医科大学国際医療センター 消化器腫瘍科 診療部長・教授 濱口哲弥

虎ノ門病院 臨床腫瘍科 医員 近藤千紘

【研究責任者】

当院責任者 腫瘍内科 部長 津村剛彦

研究代表者 京都大学大学院医学研究科腎臓内科学 教授 柳田素子

【研究の目的】

がん患者における、がん薬物療法に関連する腎障害や治療効果などの記述疫学的な実態調査と、
相関因子の探索を行う。

【研究の方法】

・対象

京都大学医学部付属病院および本院を含む協力施設を過去に受診したがん患者

・方法

電子カルテ内に蓄積されたがん患者に対する情報をレトロスペクティブに使用し抗がん剤投与による
腎障害などの有害事象の発生の有無を記述疫学的に解析する。

・利用する情報

投薬情報や腎機能、尿検査を含む検体検査結果などの患者情報

・外部への情報の提供方法

データセンターより発行される症例登録番号を付与することで匿名化した上でインターネット通信等
で送付する。

【個人情報の取り扱い】

各被験者のカルテ番号等の情報は、データセンターより発行される症例登録番号を付与することで匿名化し、個人情報との連結表である「匿名化番号対照表」は電子カルテ内の個別フォルダに保存管理し結果の公表の際に被験者が特定できないように配慮する。

【問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪赤十字病院 腫瘍内科部 津村剛彦
〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 5-30
TEL 06-6774-5111 FAX 06-6774-5131